

石灰質肥料の

あれこれ

石灰質肥料を施すと…

- 1 植物にカルシウムを供給し、植物を丈夫にする。
- 2 酸性土壌を中和し、窒素・リン酸などの養分の吸収を助ける。

	アルカリ分	肥効	特性	使用方法
消石灰	60% 以上	速	■アルカリ分が多く、 水に解けると強いアルカリ性 を示す。	●種子や根に触れると障害を起し やすいので、施用後はすぐに土と よく混合し、必ず約2週間はあけて 播種・定植をするようにする。 ●堆肥や窒素肥料とは必ず別々に 施すこと。
炭酸カルシウム (炭酸石灰) 苦土石灰 (炭酸苦土)	53% 以上	緩	■土壌と緩やかに反応して、 効果が長続きする。 ■空気に触れても変化しにくい 性質をもっているため、 取り扱いが容易。 ■苦土石灰は、苦土を5%以上 含んでいる。	●効果が緩やかなので、多めに施用 しても、作物への影響が少ない。 ●施用後は土とよく混合し、基本的に 約1週間あけて播種・定植をする ようにする。 しっかり混合していれば、すぐに施肥、 播種、定植しても影響が少ない。
有機石灰	35% 以上	遅	■土壌と緩やかに反応して、 効果が長続きする。 ■貝殻類を粉砕しただけの 石灰肥料。	●効果が緩やかなので、多めに施用 しても、作物への影響が少ない。 ●施用後は土とよく混合した後、 すぐに施肥、播種、定植しても 影響が少ない。

※酸性を好む植物、アルカリ性土壌には使用しないでください。